



電子部品部会の人材育成事業／ 「ものづくり教室」の実施

電子部品部

わが国の電子部品産業は、製造業の原点である『ものづくり』を核とした先端技術開発ならびに独自の生産ノウハウの蓄積により、世界のリーダーとして発展を遂げてきました。今日の熾烈な国際競争環境下において、今後とも世界のトップランナーとして成長するためには、優秀な人材の育成が最重要課題の一つと考えられています。一方で、近年、青少年の理数系離れや「ものづくり」に対する興味・関心の薄れが深刻な問題となっており、大学等における理工系学生の占める割合

も減少を続けています。

(一社)電子情報技術産業協会/電子部品部会は、“モノづくりは人づくりから”という考え方に沿った「産学協調による人材育成」の具体策として、2006年度から部会参加各社の協力の下「ものづくり教室」をスタートさせました。以降、年に3回程度の頻度で教育委員会とJEITAとの共催による教室を継続実施しております。電子部品部会のサポートによる昨年度の「ものづくり教室」の開催実績は次の通りです。

①富山地区ものづくり教室 [SMK (株)、コーセル (株)、北陸電気工業 (株)、(株) 富山村田製作所]

日 時：2012年6月2日 (土) 午後9時～11時45分

場 所：コーセル (株) 施設

内 容：「ペットボトルを利用した手作りラジオ」の製作

参加者：25名

指導員：35名

②中央区ものづくり教室 [スミダコーポレーション (株) 他、電子部品部参画会社8社]

日 時：2012年7月7日 (土) 午後2時～4時

場 所：中央区役所 教育センター

内 容：「おちないロボ」の製作

参加者：55名

講 師：2名

指導員：25名

③関西地区ものづくり教室 (JEITA 関西支部)

日 時：2012年12月15日 (土) 午後1時30分～3時30分

内 容：「まことくん (簡易うそ発見器)」の製作

場 所：京都まなびの街 生き方探究館

参加者：18名

指導員：7名

電子部品部会による「ものづくり教室」は、子供たちが自ら電子工作を体験することによってその楽しさを実感してもらい、子供達のものづくりへの興味を喚起するためのイベントです。また一方では、教室の運営を通じて、参加される指導員(電子部品部会会員会社からの派遣)の方々に運営ノウハウを享受して頂き、各社が各拠点において独自に

「ものづくり教室」を実施する際の一助にしてもらおうことをもう一つの大きな実施目的としております。

本年度も東京地区では、スミダコーポレーション(株)を幹事会社に、その他の電子部品参画会社6社の運営協力のもと中央区ものづくり教室を実施しました。実施概要は次の通りです。

中央区ものづくり教室【スミダコーポレーション（株）他、電子部品部参画会社6社】

日 時：2013年7月6日（土）午後2時～4時15分

場 所：中央区役所 教育センター

内 容：「ライトレースカー」の製作

参加者：約60名

講 師： 2名

指導員： 25名



2013年度「中央区ものづくり教室」の実施風景

電子部品部会では、会員企業がこれから地域の小中学生を対象に「ものづくり教室」を実施する際の参考となるよう、これまでの運営実績により得られた知見を取りまとめ、「ものづくり教室実施マニュアル」を作成しております。

マニュアルでは、第1部において「ものづくり教室」の企画、運営の流れに沿った、指導員の確保、教材例、安全管理、必要経費、運営上の留意点等についての概略を取りまとめ、第2部において、東京地区で実施したト

ライアルの他、電子部品各社によるそれぞれの拠点地区での実施事例を掲載しました。

ご興味のある方は下記 URL から無償ダウンロードが可能ですのでどうぞご覧下さい。
http://home.jeita.or.jp/ecb/member/data/manual_ver30.pdf

このような活動が業界全体に拡大して草の根運動的な広がりをもつことは、電子部品業界の発展にとっても極めて有益であると確信しております。